

北川の通信

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2011年2月12日

vol.87

まだ
冬眠中です
号

2 / 2 6 (土) 北川かっぱの会総会に出席ください



北山公園に設置された掲示板(左側)

「水と緑の掲示板」の掲示をスタートします

(社) 関東建設弘済会と(財) 日本生態系協会は、21年度より、都市化が進み自然の減り続けている関東地方で、自然と共存した持続可能な地域づくりをすすめる活動を応援する「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」を実施しています。その22年度の選定地の募集があり、北川かっぱの会として「北山公園(北川を含む)と八国山」で応募していましたが、見事に選定されました(7月)。今回の選定にあたり、副賞として北山公園の中に(仮称)「環境掲示板」を設置する経費について、満額助成を受けることになりましたが、北川かっぱの会では、昨年9月の通称「川端会議(北山公園整備計画意見交換会;市+市民団体+市民が参加)」に環境掲示板を設置すること(東村山市に寄付)を提案して賛同を得、市の協力の下、昨年11月に北山公園内に掲示板を設置しました。

その後2月5日に開催された川端会議で、環境掲示板の掲示内容や運

営方法の方向性について賛同を得ることができました。環境掲示板（愛称＝「水と緑の掲示板」に決定）には、「見どころマップ（北山公園や八国山境界で、その季節に見ることのできる鳥、昆虫、花、きのこなどを地図上に表示したもの）」や「イベント情報（たいけんの里自然観察会、ウォーキングイベント、みどりの楽校、クリーンアップ、しょうぶまつり、夏まつりなど）」、「環境の現状に関する情報（特定外来生物（ブラックバス、カメ類、オオフサモなど）や北川の水質、ゴミなど）」等について、市や市民団体等が協力しながら掲示していくこととしました。「見どころマップ」については、有志（八国山たいけんの里自然観察部会や北川かっぱのメンバー他）で定期的に編集委員会を開催して掲示内容をまとめ、「イベント情報」は市役所や各実行委員会が、「環境の現状に関する情報」は北川かっぱの会が掲示内容をまとめ掲示していく予定です。今後一定の準備期間を経て、この2月末頃より本格的な掲示を行っていく予定です。北川かっぱの会では、「水と緑の掲示板」をきっかけとし、多くの市民が北川流域の環境の現状に関心を持ち、地域の自然環境の保全や復元につながっていくことができると考えています。

報告 川端会議 多摩湖緑地を都市計画緑地として指定

2月5日(土)に通称「川端会議（北山公園整備計画意見交換会；市＋市民団体＋市民が参加）」に参加しました。

市の報告の中で、多摩湖緑地を都市計画緑地として指定し、公有地化し整備を進めること、同様に北山公園の北川南側の竹林の公有地化、公園内の水路改修などの説明があり、緑の保全が着実に進んでいる状況であることが明らかになりました。



多摩湖緑地でのホタル観察会の様子

北川かっぱの会からは、まず、北山公園「しょうちゃん池」の自然の復元に向けての提案を行いました。しょうちゃん池の護岸について、草などが生えるようにしていく点については、おおむね賛同が得られたと思われますが、深みや浅みなどを作っていくために池底のコンクリートをはがしていく点については慎重な意見、反対意見が多数出ました。地盤は透水性が高いので池底のコンクリートはいじらずに玉石などを置くことにはどうか、という意見も出ました。今後は、透水性や水の流れなどのデータを収集し、現実的な対応策について検討していこうという結果でした。

次にオオフサモ駆除についての提案も行いました。駆除については、おおむね賛同を得ることができ、実施に向けて検討することになりました。

2011年度北川かっぱの会の総会を開催します。

2月26日(土) 15:40~18:00、廻田公民館

2011年度の重点課題として以下の内容を中心に提案していく予定です。
生物多様性の復元、保全 昨年は2つの池の掻い掘りを実施しましたが、その後のブラックバス等の繁殖状況について継続的に調査していきたいと思ひます。また、最近北川で繁殖してきているオオフサモの駆除にも取り組んでいきたいと思ひます。さらに外来魚等を防除(駆除+密放流防止)していくため、市民向けのアピールを強化していきたいと思ひます。

環境学習の推進 小学校の土曜講座、市みどりの楽校等を引き続き支援していきますが、特定外来種の学習や「生き物カード」を使った学習を実施していきたいと思ひます。

環境調査の継続 引き続き、水質や魚類、水底生物、昆虫、鳥、ゴミ等の調査を実施していきますが、一般市民や学生などの参加の促進を目指したいと思ひます。

行政や他団体との連携 北山公園に設置した「水と緑の掲示板」の管理・運営や北山公園しょうちゃん池の護岸の自然護岸化、オオフサモ駆除では市役所との連携を図っていく予定です。また、狭山公園たっちゃん池のブラックバス対策や北川の親水化では西武・狭山丘陵パートナーズと、「水と緑の掲示板」の見どころマップの作成では八国山たいけんの里自然観察部会を中心としたメンバーとの連携を強化していきたいと思ひます。

市民への情報発信など かっぱ通信やホームページでの情報発信に加え、「水と緑の掲示板」からの情報発信をスタートします。また、会の各イベントについて、様々な年代の方々が参加しやすい形を目指したいと思ひます。

財務 引き続き、会費を基に支出しているかっぱ通信関係の経費の節減に努力する一方、消耗品の購入等についてはできるだけ助成金を活用していく方向で努力していきたいと思ひます。

当日は活発な議論を期待したいと思ひます。会員の皆様方の参加をお待ちしております。



北川の蟹！

まだまだあまり知られていませんが、北川には蟹が生息しています。生息数は少ないようですが、4～5年前から、かっぱの会のメンバーが時々見つけるようになりまし
た。

その蟹は「モクズガニ」という種類の蟹で、大きいものでは大人の手のひら位にまで成長します。見た目は上海ガニにそっくりで近縁種のようなです。もちろん食用の蟹で、美味です。

モクズガニの繁殖は海水域でしか行われなません。幼生の時期は海ですごし、5mm程度の大きさになっ



たら、川をさかのぼりつつ成長します（相当の勾配がある落差工（堰）でも登ってきます）。おおむね2、3年で成体になり、また秋から冬にかけて川を下って繁殖に参加します。北川は荒川の流域なので、はるばる東京湾から新河岸川～柳瀬川～北川と毎年の長旅をしているのです。川の生き物が海との係わりを持ちながら生息できる環境まで回復した事が何と嬉しいことでしょう。また、柳瀬川では稚アユが放流されたこともあり遡上してます。地元の人たちの釣り物としてののしまれるまでになりました。今年は僕も柳瀬川のアユ釣りに挑戦してみたいです。（中谷）

北川のオオフサモ

最近、北川に特定外来生物である「オオフサモ」が増えています。オオフサモは、南アメリカ原産で繁殖力が強く、平成18年に「特定外来生物」に指定されました。オオフサモは熱帯魚ショップなどでも気軽に購入することが可能ですが、

何かのきっかけ（引越し、熱帯魚を飼うのを飽きた？など）で川に捨てられ、それが基で繁殖をはじめたのだと思われます。オオフサモが繁殖すると、川の水流を妨げ、水質を悪化させる原因ともなります。また、同じ生息環境の在来種を駆除してしまうことにもつながります。北川かっぱの会では、1月29日に繁殖の実態について調査しましたが、北川でも中流域（多摩湖町1丁目付近から縄文遺跡橋付近）を中心に、前川の合流点付近にまで繁殖している様子が伺えました。オオフサモは目立つ程度に繁殖した段階では、簡単には駆除できないほど繁殖していることが多いと言われ、早期対策が重要であると言われています。駆除にあたっては、ていねいに根っこから全てを含め抜き取ることが重要と言われていますが、結構難しい作業です（事実、1月の実態調査では、完全に駆除するのが困難でした）。北川かっぱの会では、北川に清流を取り戻し、子どもたちが川で生き生きと遊べるような川に復元していくことを目指していますが、今年は重点課題の一つとして北川のオオフサモ駆除のための活動を行なっていくことにしました。2月5日に開催の通称「川端会議（北山公園整備計画意見交換会（市+市民団体+市民が参加））」の場で「オオフサモの駆除」について提案をし、賛同を得ることができました。

多摩湖町を流れる北川に発生したオオフサモの群落



今後は、川端会議や市、その他関係者との協議を経て「オオフサモ駆除作戦」を展開していきたいと考えています。



和名 オオフサモ

原産地 南アメリカ原産、北アメリカ、南ヨーロッパ、アジア、オセアニアに分布
特徴 アリトウグサ科の抽水性の多年草で、水面からの高さは0.2～0.3m。温帯～熱帯に分布する。耐寒性があり、湖沼、河川、池、水路、一部の休耕田に生育する。浅水中に群生する。開花期は6月頃。雌雄異株。日本では雌株のみで、種子生産は確認されていない。栄養繁殖が旺盛で地下茎で繁殖する。日本では殖芽をつくらない。
定着実績 1920年頃にドイツ人が持参し、兵庫県須磨寺の池に野生化した。本州以南に見られ、九州筑後川水系に多くみられる。
生態系に関わる被害 九州筑後川水系などで、過繁茂した純群落が水流を妨げる等の問題を引き起こしている。* 茨城県霞ヶ浦では、湖の一部や周辺水路で大繁茂し、在来種への影響が危惧され、駆除が行われている。海外でも侵略的な外来種とされ、水路の水流を阻害して問題になっている。（環境省HP 特定外来生物の解説 より引用）

2011年 2月～3月 活動スケジュール

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

3/12,4/9 集合：北山小正門前

北川かっぱの会総会

2/26 (土) 15:40～18:00 廻田公民館。

かっぱ定例会 8頁参照

3/26 (土) 13:30～15:30 MARU 茫々亭

春のうららかウォーキング



西武・狭山丘陵パートナーズ主催（北川かっぱの会協力）。

3/27 (日) 9:00～東村山駅西口駅前広場で受付

東村山駅 北山公園 八国山たいけんの里 八国山

狭山公園 東大和公園 狭山公園 西武遊園地駅

を回るウォーク（約9.8km）。北川かっぱの会では

北山公園内の案内（9:20～、10:00～を行います（併

せて、北川の魚（水槽）やパネル展示を行なってい

くことを検討中）。どなたでも参加可能です。詳細が決定次第、かっぱブログに掲載します。



報告 クリスマスパティー

12月4日（土）の夜、MARU 茫々亭で北川かっぱの会のクリスマスパーティー＋忘年会を開催しました。少し寒い風が吹いていましたが、焚火で鳥の丸焼き、スズキのホイル焼き、豚汁などを楽しみました。約20名の参加で、この1年間の思い出話や狭山丘陵の生物などについて、囲炉裏や焚火を囲み、夜遅くまで語り合いました。20時過ぎからは岩崎氏のキーボードや中谷氏のギター、また飛び入りでNPO birthの蜂須賀氏や梅田さんの弾き語りなど、大いに盛り上がりました。



報告 南台・富士見小土曜講座「水のふしぎ探検隊」

2回にわたりかっぱの会が講師となり協力しました。

12月4日

参加者 13名で中央公園&空堀川で「野鳥をみよう」を実施しました。

中央公園をスタートして間もなく、みんなのすぐ頭の上の樹上で休むゴイサギ(幼鳥)を見つけました。フィールドスコープでドアップで観察し、くちばしやギョロ目の迫力を感じました。空堀川ではカモ類等それなりに見ることができましたが、人気だったのはなぜかこんな所にいたアズマヒキガエルでした。彼は狭山丘陵から流されて来たのでしょうか？

12月11日

参加者 13名で北山公園&八国山で「野鳥をみよう」を実施しました。

温暖化のせいか例年になく落葉が遅かったため、八国山ではなかなか鳥たちを見つけられませんでした。しかし、北山公園ではセキレイ3種を見ることができ、児童たちも「東村山の鳥ハクセキレイ」をすっかり覚えたようでした。最後に北川でのんびりくつろぐカワセミをすぐ近くで見ることができました。

(ピー永島)



ゴイサギ



アズマヒキガエル



カワセミ

インフォメーション

会費納入のお願い

かっぱ通信の印刷費、郵送費（マスコミや環境関係の識者、他の環境団体への周知経費を含む）や夏まつりの消耗品などの経常的な経費は、皆様方からの会費を基に活動を行なっています（財団や企業からの助成金は、経常的な経費への支出は認められない）。最低限の活動を行なっていくためにも、会費（年間3000円）のお振込をお願いいたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かっぱの会 会議日程

総会 2月26日（土）15:40～18:00

廻田公民館（P3参照）

定例会 3月26日（土）13:30～15:30

MARU 茫々亭；4～6月の活動予定を中心に話し合います

編集後記

ブラックバス問題の本を読んでいる。当時のブラックバスブームの拡大のプロセスには新しい自然（魚）を相手にするスポーツとして、競技会（トーナメント＝ゲーム）ができ、それをプロとする釣り師が現れ、業界誌、用具産業あいまみれての儲かる構図ができ 漁場拡大＝密放流の構図となっただけ。自然を相手にするスポーツであるがお金がからむと、賢明な利用や保護には目が向かない。自然は収奪されるばかり。反省の時代になってきたが、新しい様々な遊びやスポーツが新興するたびに軋轢は繰り返される。その裏には経済がいつもからんでいるように思えてならない。（遊星歯車）

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

会費 年間3000円。

「かっぱ通信」（年5回）をお送りします。

問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店（普）

3605694〕

加入者名 北川かっぱの会



かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップ - 未来の川へ - 』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺